

Ⅱ. ハノイ大学への教員派遣事業

1、派遣教員

派遣教員	礪波美和子	奈良女子大学大学院 人間文化研究科 助教
------	-------	----------------------

2、派遣期間

平成23年8月4日（木）～12日（金）

8月4日（木）出発（関西空港～ハノイ空港）

8月5日（金）講義打ち合わせ

8月6日（土）講義準備。昨年結成された奈良女子大学同窓会「佐保会」の支部「ベトナム佐保会」のメンバーと喫茶店で落ち合い、その後昼食を共にする。奈良女子大学で受け持った留学生と再会し、日系企業に就職したことなど情報交換する。

8月7日（日）講義準備

8月8日（月）講義

8月9日（火）講義

8月10日（水）講義

8月11日（木）採点後、帰国へ（ハノイ空港）

8月12日（金）帰国（関西空港）

3、事業概要

3-1 講義日程 講義テーマ「日本語の音声」と時事問題

全体の狙い

「海外で日本語教育を行っている日本語を母語としない日本語教師」向けに作成されたテキスト（国際交流基金 日本語教授法シリーズ 第2巻 「音声を教える」）を用い、音声の具体的な練習方法を体験し、身につけることにより、日本語の音声を学習者に教えられるようにします。さらに練習を通じて、自分自身の発音能力の向上も目指します。

また、日本の時事問題に関するテレビのニュースや論説番組・新聞記事などを複合的に利用し、論理的な内容に対する聴解力・読解力の向上を目指します。

講義日程と各コマの概要（シラバス）

8月8日（月） 13:00～16:00

1. 日本語の音は簡単？ 付. 日本語とベトナム語の違いについて
2. 日本語の母音
3. 日本語の子音（1）

4. }
5. } 日本の時事問題 (1)

8月9日(火) 13:00~16:00

6. 日本語の子音 (2)
7. 日本語の子音 (3)
8. 日本語の子音 (4)
9. }
10. } 日本の時事問題 (2)

8月10日(水) 13:00~16:00

11. 音素と異音
12. 有声音と無声音
13. 撥音「ン」の発音
14. }
15. } 日本の時事問題 (3)

日本語学 (2 単位) のうち、前半の 3 回 15 コマ (1 単位) を担当、中間の成績評価をして、後半担当の Toan 先生 3 回(1 単位)に引き継ぐとの依頼だったため、音声を中心に時事問題を組み合わせたシラバスとレジュメを作成しました。

打ち合わせで、既に音声・音韻に関しては、別の大学の先生による集中講義があったとのことで、急遽「時事の問題や読解を、読解に関する文法研究」という依頼を受けました。そこで、時事問題を中心にして、音声に関しては、院生の発音などに問題が出てきたときに触れるという方針に変更しました。

最終コマで、既に国際交流基金から寄贈され、ハノイ大学日本学部に着用してあった国際交流基金の日本語教授法シリーズ第 2 巻『音声を教える』の付属 CD-ROM の使い方を解説しました。具体的には、週 20 コマ(1 コマ 45 分)程、学生に日本語を教えているという院生が、受け持つ授業で活用できるよう、まず、『練習 8』「韓国や東南アジアの人の中には、『ザ、ズ、ゼ、ゾ』と発音しようとして、『ジャ、ジュ、ジェ、ジョ』のようになってしまっている人がいます。たとえば、『～ございます』と言おうとして『～ごじゃいます』のように聞こえてしまったりします。ザ行がジャ行にならないように、練習しましょう。」というザ行音の練習ビデオを使って、実際に発音修正練習を体験してもらいました。その後、「本文にそって見る」「種類ごとに見る」「付属資料」の音声ファイル・映像ファイル・PDF ファイルをいくつか体験してもらい、テキストの最後にある「CD-ROM の使い方」に、「ファイルを Power Point に貼って教室で見せたり」とできると記されていること、授業でぜひ活用してほしいことを伝えました。

3-2 講義概要

8月8日(月) 13:00~16:00

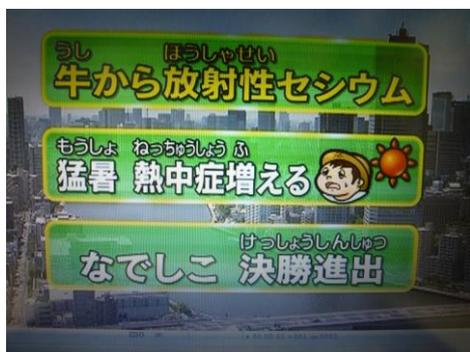
1. 関西ローカルテレビの奈良女子大学紹介(「あほやねん! すきやねん! 奈良女子大かいわいグルメ」2010年12月7日(火)放送)視聴
「話し言葉と書き言葉の違いについて」・「方言について」説明。

2. 都道府県名にルビのついた日本地図を配布し、奈良の位置などを説明。

1コマ目に視聴してもらった番組に出てきた^{かつおぶし}鰹節の削り節パックを配布し、関西で有名な「お好み焼き」や「たこ焼き」の上に振り掛けて食べることを説明しました。また、奈良女子大学の校章に^{さくら}「桜」と^{なでしこ}「撫子」の花が使われていること、「桜」は皆知っているとのことだったので、^{なでしこ}「撫子」が描かれた一筆箋を一枚ずつ配布し、似た花を知っているか尋ねました。院生から、「カーネーション」に似ているとの意見が出たので、カーネーションがナデシコ科の花であることを説明しました。そして、^{やまとなでしこ}「大和撫子」という言葉があり、「^{にほんじょせい}日本女性の^{せいそ}清楚な^{うつく}美しさ」を表すことを説明しました。

その後ハノイ大学の校章について質問しました。院生たちは、学生証に印刷された校章を見ながら判らないという風情でしたが、講義にずっと参加してくださり、ベトナム語での説明を付け加えてくださった Toan 先生(「日本語学」後半担当)から、勉学を象徴する「ペン」を象っていることを説明してもらいました。その際、ベトナムで最初の大学が開設されたハノイの文廟(孔子廟)についてなど、話して頂きました。

3. NHK 週間手話ニュース(2011年7月16日(土)放送)の聞き取り



「主な項目」の部分の聞き取り(3回)

^{えいきょう}影響が^{ひろ}広がっています。

^{ねつちゅうしょう}熱中症に^{ちゅうい}注意が^{ひつよう}必要です。

なでしこジャパン^{かいきよ}快挙です。

NHK 週間手話ニュースは、1週間の主な出来事を20分間にまとめてあり、手話の他

に、字幕に総ルビが付いているため、日本語を学習する方に、時事問題を教えるのに便利なため、録画したものを持って行きました。でも、教室でノートパソコンをプロジェクターにつなぐと、録画したものが再生できなくなりました。

プロジェクターなどを管轄する事務の方にも来て頂き、見てもらいましたが、残念ながら改善せず、持参したノートパソコンの小さな画面で見てもらいました。

院生の授業のため、10人の受講生とはいえ、最前列の数名しか字幕を読み取ることができなかったため、20分間の週間手話ニュースをすべて視聴してもらう予定を変更し、前半10分のみ聞いてもらいました。

「なでしこジャパン」はサッカーの女子チームの名前であること、先ほどの時間に説明したように「大和撫子」という言葉があり、「日本女性の清楚な美しさ」を表すこと。7月16日のニュースでは、始めてワールドカップ決勝に進出したことを「快挙」と表示しており、次の週には初優勝し、日本で話題になっていることを解説しました。

4. NHK 時論公論「放射性セシウム 牛の管理強化を」(2011年7月15日(金)放送)

7月16日(土)週間手話ニュースの主な項目の一つ目「牛から放射性セシウム」に関して、NHKの10分間の論説番組時論公論を視聴してもらいました。

ホームページ「解説委員室」の記事を参考に、テープ起こしした画像付きのプリントを配布し、聞いてもらった後、配布した日本地図を利用して解説しました。

5. 2011年7月31日『SANKEI EXPRESS』「おやこ新聞」今週のテーマ

「買った牛肉やコメの生い立ちがわかる?! トレーサビリティーってなに?」

前日の8月7日(日)の朝7時のNHKラジオニュースで、各家庭が購入した牛肉が、回収対象になっているかどうかを、個体識別番号を使ってインターネットで確認できるシステムがあることを伝えていたことを述べた後、産経新聞社が20代から30代向けに出している新聞『SANKEI EXPRESS』の日曜の「おやこ新聞」の記事のカラーコピーを配布し、牛トレーサビリティー制度について解説しました。おじいさんと孫との会話体になっている記事を用い、話し言葉と書き言葉の違いについて、さらに解説しました。

8月9日(火) 13:00~16:00

1. 前日の聞き取りの返却と復習

「快挙(かいきょ)」を「かいきょう」と聞き取る誤りが多数あったため、日本語の「拍」の問題、のばす音に関して解説しました(「おばさん」と「おばあさん」等)。解説後、冒頭の「主な項目」の部分を3回ヒアリング。

初日にプロジェクターに映し出せないことがあったため、主な項目の内容部分をテープ起こししたものをプリントアウトしてもらい、受講生に配布。それをスクリー

ンに映しながら、「牛から放射性セシウム」(1分～6分)・「猛暑 熱中症増える」(6分～9分30秒)・「なでしこ 決勝進出」(14分50秒～18分45秒)を中心に聞き取ってもらいました。

猛烈な暑さの続く日本列島で、電力不足のため、エアコンの設置をやめ、ミスト機を設置した群馬県太田市の小学校と中学校の話を中心に、日本での暑さ対策を伝えると共に、受講生からベトナムでの暑さ対策について、意見を出し合ってもらいました。

その後、当日朝の番組「NHKおはよう日本 まちかど情報室 アイデアサンダルで夏を楽しく」で取り上げられていた情報を、パワーポイントを使って紹介。暑い夏を楽しく過ごす、サンダルに関するホームページを紹介し、暑さ対策に関して、さらに意見を出し合ってもらいました。

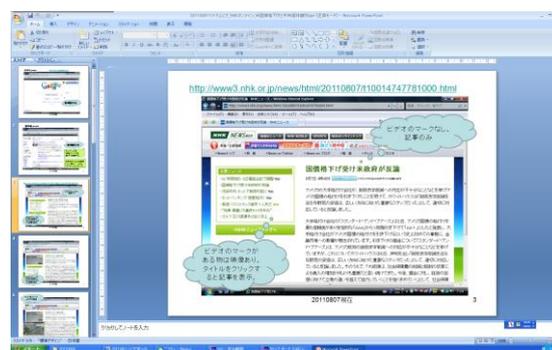
2. 奈良女子大学の紹介

国立大学法人奈良女子大学 国際交流センターの松永光代助教に、パワーポイントを利用した奈良女子大学の紹介をしていただき、学术交流協定に関する解説をしていただきました。

3. NHK ラジオニュースと NHK NEWS WEB(テレビニュース)に関して

滞在先のホテルで NHK を視聴できたため、ベトナムで日本語学習に使えると考えていたところ、初日の授業後、院生から高い視聴料を払わないと NHK を見ることができないため、自分たちには見ることができないこと、他チャンネルとセットで視聴できる NHK ワールドは英語が中心なため日本語学習には役に立たないことを聞

きました。そして、気軽に視聴できる日本語ニュースはないかとの質問があったため、院生が使うことのできるハノイ大学日本学部のインターネットに繋がっているパソコン(日本語フォント有)を使わせてもらい、NHK ラジオニュースと NHK NEWS WEB が視聴できることを確かめた後、パワーポイントで視聴方法を解説したものをプリントアウトしてもらい配布、使い方を解説しました。授業に使用した教室に設置されたパソコンは、ベトナム語仕様のため、キー表示とは別の文字が入力されたり、日本語のホームページが



文字化けしたりしましたが、日本語の使えるパソコンで作成した URL をコピーアンドペーストすれば目的の HP を表示できることも実演しました。また、日本語が文字化けしても、動画は再生できることも、確認しました。

その後、当日午前7時のラジオニュースのヒアリングを行いました。「ふつう」「ゆっくり」「はやい」の再生スピードから選べることを説明、実体験してもらいました。

4. 2011年8月9日「猛暑続く見込み 熱中症に注意」(約2分) 聞き取り

前日に取り上げた7月16日(土)の週間手話ニュースの主な項目の二つ目、熱中症に関して、当日朝のニュースをNHK NEWS WEBで探し、穴埋め形式の聞き取り問題を作成。3回ヒアリング。できるだけ漢字にルビを振るように指示しました。

ベトナムも猛暑が続いたり、ゲリラ雷雨で教室の建物の前まで冠水する日があったりしたので、日本とベトナムの気候の比較などを話し合いました。

5. NHK時論公論「アナログ放送終了へ」(2011年7月21日(木)放送)

「解説委員室」の記事を参考にテープ起こしした画像付きのプリントを配布し、NHKの10分間の論説番組、時論公論を視聴してもらいました。日本ではアナログ放送が終了し、デジタル放送になったことを解説しました。

8月10日(水) 13:00~16:00

1. 前日の聞き取りの返却と復習

前日の聞き取りを返却。聞き取りがうまくできていなかった箇所に関して、どういった音を聞きとれていなかったかを、解答をパワーポイントで映しながら、具体的に解説しました(「猛暑日」の「び」など)。

その後、聞き取りにくい箇所にご注意するよう促し、「猛暑続く見込み 熱中症に注意」を3回ヒアリング。

次に、当日朝のニュース「猛暑の予想 熱中症に一層注意を」(1分15秒)を新たに聞いてもらい、気象に関する用語は限られているので、決まった用語を聞き取れるようになれば、天気に関する情報が分かることを解説しました。また、HPを利用して東京とハノイの気温を比較し、「体感温度」が表示されていることに関して、体で感じる暑さは温度だけでなく、湿度も関わることを話しました。

猛暑続く見込み 熱中症に注意

今日も西日本と東日本を中心に猛烈な暑さが続く見込みで、気象庁は各地に「高温注意情報」を出して熱中症に十分注意するよう呼びかけています。

気象庁によりますと、昨日は日本海側や内陸を中心に気温が上がり、京都府舞鶴市で37度9分、鳥取市で36度8分、前橋市35度5分など各地で**猛暑日**となりました。今日も高気圧に覆われて晴れるところが多く、西日本と東日本それに東北では**猛烈な暑さ**となる見込みです。

日中の最高気温は、京都市や埼玉県熊谷市で**37度**、さいたま市や甲府市で**36度**、東京の都心や大阪市それに福島市で**35度**などと予想されています。気象庁は、今朝、東北から九州北部にかけての**27の都府県**に熱中症への注意を呼びかける「**高温注意情報**」を発表しました。これから数日間は、気温が平年よりかなり高い日が続くおそれがあります。気象庁は、こまめに水分や塩分を取ったり、適切に**冷房**を使ったりして**熱中症**に十分注意するよう呼びかけています。

一方、気温が上がる午後からは東日本と北日本の内陸を中心に大気の状態が不安定になり、局地的に雷を伴って非常に激しい雨が降るおそれがあります。

気象庁は、天気が急に悪化した際には、低い土地の浸水や川の急な増水、土砂災害、落雷、突風などに十分注意するよう呼びかけています。

【関連ニュース】自動検索

・各地で**猛暑夜**に**かけ雷雨**注意

・各地で**猛暑** **激しい雨**や**落雷**も

・**広範囲で7日も風雨**など**注意**

2・3. 2010年12月1日『朝日新聞』 常用漢字表改訂

前日に、最終日は昨年29年ぶりに改訂された常用漢字表に関する話題を取り上げることを伝え、2010年12月1日『朝日新聞』16面と33面の記事のコピーと総ルビを付けたプリント、2010年11月25日『SANKEI EXPRESS』の記事のコピーを予め配布し、2010

年12月1日『朝日新聞』16面の中に出てくる16用語(常用漢字表・指針・告示・目安・
どうしん ぶか も こ どうめん しもん ひんど こし め てほん
答申・なじみ深い・盛り込む・当面・試問・頻度・たじろぐ・腰を抜かす・むやみ・手本・

なづ こせき
名付け・戸籍)を調べてくるよう宿題にしました。プリントを配布する際、2010年12月1

日『朝日新聞』33面に「国内外で70万人以上の外国人らが受験する日本語能力

しけん あら かんじ どうじょう ひく し
試験にも、新たな漢字が登場する日が来るかも知れない。」と記されていることに注目

してもらい、日本への留学を考えていたり、日本語を教えたりしている受講院生たちに、とても関係する話題であることを伝えておきました。まず、宿題の用語プリントを回収し、
答えのプリントを配布。プロジェクターに映し出し、解説を交えながら読み進めました。

4. NHK 時論公論「学ぶ漢字が増える 授業は？」(2010年9月7日(火)放送)

「解説委員室」の記事を参考にテープ起こしした画像付きのプリントを配布し、NHKの10分間の論説番組、時論公論を視聴してもらいました。

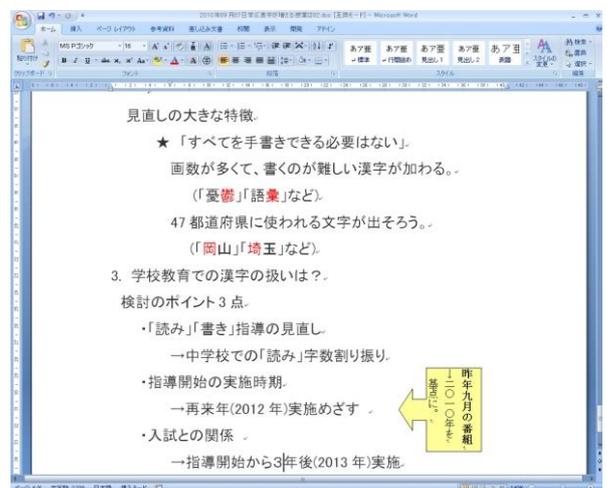
『朝日新聞』の記事が昨年12月1日で、29年ぶりに常用漢字表が改訂された後の記事だったのに対し、これは昨年9月7日の放送で、「学校で新しい常用漢字をどう教えるのか、文部科学省の専門家会議で議論が続いて」いる最中の番組であることを解説、「基点」がどの時点かをしっかり押さえることが大切なことを伝えました。そして、「基点」が昨年のため、番組内に出てくる「来年」は2011年のことであること、「再来年」は2012年のことであることを確認しました。

そして、次のポイントに注意して聞くよう促しました。

1. 常用漢字表は、およそ何年ぶりに見直されたか？

2. この見直しで常用漢字はどう変わるか？

見直しの大きな特徴



3. 学校教育での漢字の扱いは？

検討のポイント 3 点

- ・
- ・
- ・

その後、受講院生から答えを引き出し、答え合わせをしました。

5. 『音声を教える』(国際交流基金日本語教授法シリーズ第2巻)の付属 CD-ROM の使い方
解説

ザ行音の練習ビデオを使って、実際に発音修正練習を体験してもらいました。その後、「本文にそって見る」「種類ごとに見る」「付属資料」の音声ファイル・映像ファイル・PDF ファイルをいくつか体験してもらい、テキストの最後にある「CD-ROM の使い方」に、「ファイルを Power Point に貼って教室で見せたり」とできると記されていること、授業でぜひ活用してほしいことを伝え、『文法を教える』(国際交流基金日本語教授法シリーズ第4巻)と共に寄贈しました。